

平成14年 3月 8日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一第6回広島放射光国際シンポジウム
～ナノスケール分析評価と放射光物質科学研究～

このことについて、下記のとおり開催されますので、お知らせいたします。
なお、詳細については、プログラムを添付しておりますので、ご覧ください。

記

- 日時 平成14年3月14日(木)～15日(金)
- 場所 広島大学理学部 E002講義室
- 日程 3月14日(木) [ナノスケール分析評価]
- 10:00～10:15 開会挨拶
 - 10:20～10:40 広島大学放射光科学研究センターの現状と将来評価
放射光科学研究センター長 谷口 雅樹
 - 10:45～15:55 各講演, ポスターセッション([プログラム参照](#))
 - 16:10～17:10 施設見学(放射光科学研究センター)
 - 17:10～18:30 懇親会
- 3月15日(金) [放射光による応用研究]
- 10:00～11:25 各講演([プログラム参照](#))
 - 11:40～12:25 「吉田勝英教授 定年退官記念講演」
 - 12:30 閉会挨拶

【お問い合わせ先】
広島大学放射光科学研究センター長
谷口 雅樹
TEL: (0824) 24-6995
(ダイヤルイン)

[発信枚数; A4版 4枚(本票含む)]

[シンポジウムの意義・概要](#)

第6回広島放射光国際シンポジウム

The 6th Hiroshima International Symposium on Synchrotron Radiation

ナノスケール分析評価と放射光物質科学研究

日時: 2002年3月14日(木)~15日(金)

場所: 広島大学理学部 E002 講義室

主催: 広島大学放射光科学研究センター(HSRC)

後援: 広島大学放射光科学研究センター利用促進協議会

プログラム

3月14日(木)

[ナノスケール分析評価]

10:00-10:15

開式挨拶

広島大学

広島大学放射光科学研究センター利用促進協議会

Opening Address

Graduate School of Science, Hiroshima University

The Council of HSRC Research Promotion

10:20-10:40

広島大学放射光科学研究センターの現状と将来計画

谷口 雅樹(HSRC)

Hiroshima Synchrotron Radiation Center: Current Status and Future Perspective

Masaki Taniguchi

Hiroshima Synchrotron Radiation Center, Hiroshima University

10:45-11:25

先端ナノテクノロジー応用における必要条件と走査型トンネル顕微鏡(STM)に対する要請

Requirements of Advanced Nanotechnology Applications and Demands for STM operation

Cornelius Wülker

OMICRON VAKUUMPHYSIK GMBH

11:30-12:10

放射光と利用した光電子顕微鏡(PEEM)の応用

田口 雅美

ULVAC-PHI, INC.

PEEM Application with using SR facility

Masami Taguchi

ULVAC-PHI, INC.

12:10-13:00 昼食

13:10-14:20

Poster Session : HiSOR Activities (Room : E104)

14:30-15:10

放射光を用いた光電子分光における装置上の諸問題

Instrumentation Problems in Photoemission Spectroscopy using Synchrotron Radiation

Peter Baltzer

Hiroshima Synchrotron Radiation Center, Hiroshima University

15:15-15:55

スピン分解光電子分光 —HiSOR内外における現状—

Spin-Resolved Spectroscopy — Current Status out of and at HiSOR —

Qiao Shan

Hiroshima Synchrotron Radiation Center, Hiroshima University

16:10-17:10 施設見学

17:10-18:30 施設見学

3月15日(木)

[放射光による応用研究]

10:00-10:40

UV・軟X線を用いた薄膜接合系のナノ構造解析

岩見 基弘(岡山大学理学部附属界面科学研究施設)

Motohiro Iwami

Research Laboratory for Surface Science, Faculty of Science, Okayama University

10:45-11:25

AURORA-2SのMEMSへの利用

西 信嘉(住友重機械工業(株)技術開発センター)

AURORA-2S for MEMS Applications

Nobuyoshi Nishi

SUMITOMO Heavy Ind., Ltd. Research & Development Center

11:25-11:40 休憩

11:40-12:25

[吉田勝英教授 定年退職記念講演]

SOR スペクテーター

吉田 勝英(広島大学放射光科学研究センター)

12:30

閉会挨拶

-
- 使用言語:日本語・英語(15日の講演は日本語で行われます。)
 - 各講演時間には質疑・応答の時間が含まれています。
 - プログラムの若干の変更はご了承ください。

第6回広島放射光国際シンポジウム
～ナノスケール分析評価と放射光物質科学研究～

3月14日(木)と15日(金)の両日にわたり、広島大学理学部において「第6回広島放射光国際シンポジウム:ナノスケール分析評価と放射光物質科学研究」が開催される。

広島大学放射光科学研究センターは、物質の電気伝導や磁性を担う電子の解明に絶大な威力を発揮する光電子分光実験で世界最高レベルの高分解能を実現し、ナノ構造物質のサイエンスをはじめとする新しい学問分野の開拓に取り組んでいる。

最近、広島大学で従来の概念ではとらえきれない新しいタイプの半導体単結晶が育成され話題を呼んでいるが、1日目の14日は、高分解能光電子分光によりはじめて解明された新半導体に関する最新の研究成果が報告される。

また、科学技術基本計画の重点4分野のうちの一つに取り上げられている「ナノテクノロジー・材料」分野の研究に不可欠なナノスケール分析評価技術の最前線のレビューと放射光施設見学も企画されている。

また、2日目の15日には、放射光を用いたナノ構造解析や微細電子回路パターン形成など、産業利用分野を対象とする講演が予定されている。

現在、本センターは「学内共同教育研究施設」であるが、これまでの研究実績を踏まえ、平成14年度から固体物理学を中心とする物質科学の中核的研究拠点として機能する「全国共同利用施設」として新しくスタートすることになっている。

(照会先)

広島大学

放射光科学研究センター長

谷口 雅樹(たにぐち まさき)

TEL:0824-24-6995